

ID No.	1026
研究課題名	IL-12 発現型がん治療ウイルスを用いた悪性黒色腫のウイルス免疫療法開発
研究代表者	奥山 隆平 (信州大学・教授)
研究組織	
受入教員	藤堂 具記 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	松本 和彦 (信州大学・特任教授) 古賀 弘志 (信州大学・講師) 中村 謙太 (信州大学・助教) 内山 彩 (信州大学・技術補佐員) 田中 実 (東京大学医科学研究所・特任准教授)
研究報告書	
新規の癌治療法としてがん治療用ウイルスの開発を進めるため、私たちはヒト単純ヘルペスウイルスの遺伝子に改変を加えたT-hIL12の医師主導治験（第Ⅰ/Ⅱ相）を進めた。信州大学医学部皮膚科と東京大学医科学研究所先端がん治療分野が情報交換を密に行い、共同で治験を進めた。2020年1月7日に1例目の被験者の登録を行い、1月17日に初回投与を行った。2020年4月に第1相第1コホートの投与を終了し、独立データモニタリング委員会での審議の後、第1相第2コホートへ移行した。2021年5月には第1相第2コホートの投与を終了し、独立データモニタリング委員会での審議の後、第2相へ移行した。2021年10月18日に1例目の被験者の登録を行い、10月25日に第2相としての初回投与を行った。	